

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 大牟田市立米生中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒836-0881
福岡県大牟田市米生町2丁目26番地

E-mail yoneo.js@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website _____

児童生徒数 男子 79名 女子 76名 合計 155名
児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 福祉・キャリア教育 ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

全校生徒：○ESD/総合的な学習の時間のオリエンテーション(4月)

ESD・ユネスコスクールとは/前年度の学習活動の発表

○防災学習：年2回の避難訓練(火災・地震)

○地域交流：地域学校応援ボランティア(ABCボランティア)の活用
地域貢献活動(協働除草作業・地域行事への参加)

○食育講座の開催：GT(栄養士)による講演

○ユネスコ世界寺子屋運動参加(書きそんじハガキ回収)

○認知症見守り声かけ模擬訓練参加

○地域行事への参加(カップ祭りでの高校生と協働で司会進行他)

○「水」の学習：2年保健(地域の水の現状学習と浄水場の見学)

1年・・・【世界遺産学習・福祉と生き方】

●私達の「地域の宝もの」を世界遺産へ！

世界遺産について学習し、「明治日本の産業革命遺産」である「宮原坑」「三池炭鉱専用鉄道敷跡」について、地域や炭鉱に関わった人々の思いに触れ、世界遺産登録を目指して地域遺産の良さを地域に発信した。

●私達の「地域の宝もの」を世界へ発信！

7月5日の世界遺産登録決定後は、地域の宝ものを広く世界へ発信しようと、グループに分かれ、発信プロジェクトを企画実行した。JR大牟田駅・観光プラザ・世界遺産「宮原坑」等にウェルカムボードの設置・「宮原坑」についての学習発表ポスター掲示。

○大牟田特別支援学校との交流

七夕飾り作り交流・七夕交流・わくわく交流・クリスマス交流

○気仙沼市松岩中学校との交流

福祉学習という共通の学習課題をとおして、互いの学習発表などの交流を行った。

○認知症学習「絵本教室」

「認知症の方も、その家族も誰もが安心して暮らせるまちづくり」に取り組んでいる地域と連携し、認知症について理解を深め、自分達にできることを考え取り組んだ。

2年・・・【世界遺産学習・キャリア教育】

●京都・奈良の世界遺産を訪ねて

修学旅行で他の地域の世界遺産を訪ね、知識理解を深めた。

○上級学校調べ・面接について

地域の上級学校について調べ、今後の進路決定につないだ。

3年・・・【福祉と生き方】

●幼児とのふれあい体験

幼児とのふれあい体験を通して、自他の生命尊重・優しさや思いやりの心を育てた。

●独り暮らし高齢者宅訪問

地域の方々と協力して、校区内の独り暮らしの高齢者を訪問し、プレゼントを渡したり肩もみをしたりと、交流をした。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（生徒会活動・有志）